

項目	内容
名称	サンシチニンジン、三七人參 [英]San qi ginseng、 tienchi、 Tienchi ginseng、 Sanchi ginseng. [学名]Panax notogingseng (Burk.) F.H.Chen
概要	サンシチニンジンは、中国雲南省南部-広東省西南部特産の多年草である。16世紀ごろ中国で初めて漢方書籍に記述が載った。サンシチニンジン (三七人參) の中国語名は「田七人參」「田三七」「金不換」である。また中薬として用いる場合は、「三七」とも呼ばれる。薬用部分は根で、3~4年生の根を開花前若しくは11月に掘り上げ、水洗後ひげ根と地上部を除き陰干しにする。オタネニンジンとは成分や性質が多少異なる。古くから止血に利用されてきたが、その薬理作用は多彩であり、利用方法や生体の状況に応じて止血あるいは抗凝血という双方向の作用を示すとされている。
法規・制度	<b>■ 食薬区分</b> ・サンシチニンジン (デンシチニンジン) 根：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	

主な成分・性質	<p>・サポニン配糖体3~8%を含み、その主成分はジンセノシドginsenoside Rb1,Rg1,Rg2である。その他少量のginsenosideRa,b2,d,eを含み、Ro はないかあっても極めて微量である。精油成分はオタネニンジンに比べてその種類が少ないが、パナキシノール (panaxynol) ,βシトステロール (β-sitosterol) は同程度認められる。</p>
分析法	-
<b>有効性</b>	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	<p><b>その他</b></p> <p>・軽度の肝機能障害男性患者18名 (22~72歳、日本) を対象に、2 gの田七人参末を毎食後、1日3回、3ヶ月間摂取させたところ、5名の血清AST、ALT値が低下し、全患者で有害事象が見られなかったという予備的な報告がある (1995185505) 。この現象についてはさらなる検証が必要である。</p>
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトでの評価	<p><b>その他</b></p> <p><b>RCT</b></p> <p>・運動選手20名 (平均28.5±6.4歳、試験群10名、オーストラリア) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、遅発性筋肉痛を誘発するトレッドミル運動の1時間前と直後にサンシチニンジン4,000 mg/回を摂取させ、その後4,000 mg×2回/日を4日間摂取させたところ、運動負荷24時間後時点でIL-6、TNF-α濃度の増加が認められ、96時間後までの運動パフォーマンスや筋肉痛、血中のIL-1、CRP、ミオグロビン、クレアチンキナーゼ濃度に影響は認められなかった (<a href="#">PMID:23642942</a>) 。</p> <p><b>その他</b></p> <p>・疲労倦怠・食欲不振などを訴える成人の患者51名 (平均49.9歳、日本) に、2,000 mg/日の三七人参末を、原則として4週間投与したところ、白血球数は変化が見られなかったが、好塩基球と単球の割合は増加し、ストレス度、疲労度が減少し、自覚症状の改善もみられ、発現した有害事象は軽い下痢 (1名で確認) であったが、処置をせずに消失する程度のものであったという予備的な報告がある (2003145834) 。この現象についてはさらなる検証が必要である。</p>

参考文献

- (20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン  
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
(23) 天然食品・薬品・化粧品的事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳  
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)  
(92) 現代中薬薬理学 天津科学技術出版社  
(1995185505) 診療と新薬. 1995;32(4):913-7.  
(2003145834) 新薬と臨床. 2002;51(12):1194-207.  
[\(PMID:14507839\) Hum Reprod. 2003 Oct;18\(10\):2166-8.](#)  
(2012331338) 日本呼吸器学会誌. 2012;1(58):394-8.  
[\(PMID:22162298\) Phytother Res. 2012 Aug;26\(8\):1113-8.](#)  
[\(PMID:23642942\) Complement Ther Med. 2013 Jun;21\(3\):131-40.](#)  
[\(PMID:25114505\) Drug Des Devel Ther. 2014 Jul 16;8:957-61.](#)  
[\(PMID:22449792\) Eur J Dermatol. 2012 May-Jun;22\(3\):419-20.](#)  
[\(PMID:25834921\) Pharm Biol. 2016 Feb;54\(2\):231-6.](#)  
[\(PMID:28539725\) Pharmacogn Mag. 2017 Apr-Jun;13\(50\):300-308.](#)  
[\(PMID:22863918\) Biol Pharm Bull. 2012;35\(8\):1230-7.](#)